



みき

花のじゅうたんの上で

三木町議会だより



NO.

119

平成19年5月20日発行

3月定例議会

新年度予算を可決

集中審議

4
7

子育て支援券交付条例を

制定

3

委員会レポート

未利用財産の処分について
旧白山幼稚園・旧井戸出張所に
ついては再検討したい

8

決算特別委員会指摘事項

町長はこう答えた

10

三木町議会 編集 議会広報編集委員会

〒七六一〇六九二 香川県木田郡三木町大字氷上三二〇

TEL087(891)3311

三木町HP <http://www.town.miki.jp/>



3月

定例議会

▲本会議採決の様様

19年度当初予算
■一般会計総額
83億300万円

19年度当初予算案など全議案を可決
 一般・特別会計（水道事業会計を除く）

総額は188億7720万円に

平成19年第一回定例議会は、3月7日から22日までの16日間の会期で開会された。初日は、石原町長の平成19年度施政方針と、決算特別委員会の指摘事項に対する検討結果の報告に続き、18年度の一般会計および特別会計の補正予算、ならびに新年度の一般会計予算（前年度対比9.9%増）など30議案が上程された。

なお今期定例議会では、平成9年9月定例議会以来10年ぶりに一般質問がなかったが、新年度予算に対する質疑では9人が登壇し、2日間に亘って地方交付税の大幅減収による基金の取り崩しなど厳しい財政状況下における新規施策、行財政改革の取り組み内容などについて話した。

最終日には、追加提案された希少糖研究研修センターの誘致に伴う旧小菟幼稚園・小・中学校改修工事請負契約を可決、そのほか上程された全議案を原案どおり可決し、閉会した。

歳入

主な歳入	予算額
町税	25億9,551万円
地方特例交付金	3,000万円
地方交付税	18億円
臨時財政対策債	1億8,000万円
基金からの繰入金	10億4,990万円

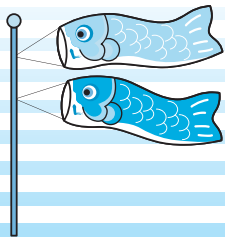
歳出

事業名	事業費
町道新設改良事業	2億6,851万円
町道舗装事業	5,500万円
香川用水非受益地域用水確保事業	4,449万円
小学校校舎等耐震化事業	2,810万円
三木中学校屋内運動場等整備事業	5億 200万円

特別会計等の当初予算

国民健康保険事業特別会計	28億 4,110万円
老人保健特別会計	33億 7,040万円
簡易水道事業特別会計	890万円
農業集落排水事業特別会計	10億 4,870万円
介護保険事業特別会計	19億 2,440万円
公共下水道事業特別会計	13億 5,680万円
介護予防サービス事業特別会計	2,390万円
水道事業会計 収益的収入	5億 342万円
収益的支出	4億 9,885万円
資本的収入	1億 2,856万円
資本的支出	2億 2,636万円

- 議会の動き
- 1. 議会広報編集委員会 議案の18
 - 2. 議会広報編集委員会 議案の23
 - 3. 議会広報編集委員会 議案の30
 - 4. 議会広報編集委員会 議案の6
 - 5. 議会広報編集委員会 議案の9
 - 6. 議会広報編集委員会 議案の13
 - 7. 議会広報編集委員会 議案の16
 - 8. 議会広報編集委員会 議案の19
 - 9. 議会広報編集委員会 議案の20
 - 10. 議会広報編集委員会 議案の1
 - 11. 議会広報編集委員会 議案の7
 - 12. 議会広報編集委員会 議案の8
 - 13. 議会広報編集委員会 議案の9
 - 14. 議会広報編集委員会 議案の12
 - 15. 議会広報編集委員会 議案の15
 - 16. 議会広報編集委員会 議案の16
 - 17. 議会広報編集委員会 議案の19
 - 18. 議会広報編集委員会 議案の22



議案を審議

子育て支援券 交付条例を制定



▲ハイチーズ！



▲委託先の三木町商工会

問 交付の対象人数は。

答 住民生活課長

出生児が250人、0歳から6歳未満児が、1500人で予算計上をしている。

支援券の交付金額

区分	出生時交付	就学前交付*
	金額	金額
第1子・第2子	10,000円分	10,000円分
第3子以降	200,000円分	

*小学校就学前の子どもを対象とする。
申請期間は毎年度4月1日から6月30日まで

問

当券の使用できる範囲を、大規模店および保育園などへ広げてはどうか。

答 住民生活課長

地域産業の活性化の面から、使用は、売場面積1000平方メートル未満の町内の登録事業所に限る。

中小企業 融資条例を改正

融資の種類及び条件

区分	中小企業小口融資
資金の用途	運転資金及び設備資金
融資限度額	700万円
融資利率	香川県中小企業振興融資(市町協調資金分)制度要綱の規定による特産小口融資の利率により定める。
保証料率	保証協会の定めによる。
融資期間	6年以内
償還方法	・6年以内(12ヶ月以内の据置期間を置くことができる) ・原則として毎月元金均等償還とする。 ・債務者は、いつでも繰上償還をすることができる。
連帯保証人	特別な場合を除いて、法人代表者のみとする。

放置自動車の処理に 関する条例を制定

公共の場所に放置している自動車の処理について、放置の警告や処分の方法などを定めることにより、生活環境の保全や、地域の良好な景観の維持を図ることを目的とする。

特別会計 105億7420万円

(水道事業会計を除く)

合計
188億
7720万円を

予算編成方針

行財政改革の原点に立ち返り、すべての施策を検証するとともに、最小の経費で最大の満足が得られるよう、斬新なアイデアと行動力をもって、職員全員が足元からすべてを見直し、町行政が新たなステージへと展開できるように、積極果敢に取り組むことを基本とした。

『獅子の里三木バスストップ』完成

問 スロープが急で車椅子の方がひとりで登れない。バリアフリーとは言いがたい、検討願う。

答 土木建設課長

スロープにしているのは当施設だけであり少し様子を見たい。



▶バリアフリー？

Q&A 予算を聞く

おもな審議を掲載しました。

敬老年金 5000円？

問 一律5000円というのは本当に平等かどうか、賛否両論あると思うが見解を伺う。

答 町長

大変喜んでいただいていると思う。各市町において状況は異なるが現状のまま進めたい。

『子育て支援券』 を交付

問 高松市やさぬき市との比較はどうか。

答 住民生活課長

この支援券は本町独自のものである。子どもを生み育てやすい経済的環境づくりの支援を行うものである。また、使用を町内事業者に限定し活性化も図るものである。

町有財産を売却

問 さぬき市くすの地区の共有山林をさぬき市に売却とのことだが将来に不安はないのか。また覚書は交わっているのか。

答 総務課長

当地において、平成16年の台風23号災害時の災害残土等を処分するもので、最終的には植林をして山林に戻すとのことである。また、覚書についてはさぬき市と地元で交わっている。

一般会計 83億300万円

9.9%増

満場一致で可決

(水道事業会計を除く)

コミュニティバス運行事業について

問 試験運行後に見直しをしたのに、なぜ看板作製費が必要なのか。

答 政策情報課長

まだ試験運行中である。バス停の増設の要望が多い。

19年度に3ヶ所の増設を計画している。そのバス停6基の作製費および新時刻表、新路線図の作製費などが必要なのである。



▲新設バス停 高木北



▲起点となる 学園通り駅

問 バスにかかる全体経費は？

答 政策情報課長

現在試験運行中であるが、合計1176万円である。

問 このバスを路線延長してスクーラタクシーと併用すれば、経費は大幅に削減できると思うが。

答 政策情報課長

安全運行の面から考えると許可が下りないと思う。

答 教育総務課長

登校時は1便のみだが、下校時は2便の運行となっている。

また行事の都合などで、下校時間が変更となる場合が相当あるので併用は困難と考える。

旧小養 幼小中学校跡地 利用について

問 校舎全体の何割を使用するのか。

答 教育長

将来的には発展すれば、学校施設全体となる。現在の計画では25年3月までに軌道に乗せようとしている。その中で、19年度からは小中学校の本館のほぼすべてを使う。幼稚園舎は事務所に使う。給食場、体育館、本館の中の和室の部分のみ、他は手をつけない。運動場も含めこのセンターと地域との交流の場にしたためである。

問 工事完成後の維持管理費については、どこが負担するのか。

答 生涯学習課長

改修工事費は本町で負担し、完了後は基本的にすべて「合同会社希少糖生産技術研究所」の負担となる。

職員の給与は

問 職員のラスパイレス指数を示せ。

答 総務課長

本町の場合17年度は84となっている。ちなみに県下8市9町の中では一番低い位置にあり、県内の平均は95.2である。

次項に続く

常備消防の出動は遅くないか

問 高松市へ委託して緊急出動が委託する前より遅くなったとの声が多く聞かれる。本当か。

答 総務課長

そういった話は聞くことがある。しかし火災の通報をしてから消防車が来る時間は同じである。また救急車についても、三木署に不在の場合には最も近い出張所から来ることから、今まで以上に体制は整えられていると考えている。



▲住民の生命・財産を守る消防署

消防団の機材等の更新時期は

問 ポンプ車、屯所等が相当老朽化している所がある。どのような基準で更新しているのか。

答 総務課長

ポンプ車等の機材に

ついては性能も良くなつており、約20年を目途と考えている。屯所については、痛みが激しいものから修理をし、必要であれば建て替えも考えたい。

消火栓設置について

問 19年度は何基を予定しているか。また町独自の判断で設置しているのかどうか。

答 総務課長

3基から4基を予定している。また現在町内の設置数は351ヶ所となっている。設置にあたっては、住民、消防署、消防団等の要請により設置している。町独自の判断ではない。

町営住宅について

問 町営住宅の撤去戸数は何戸か。また各住宅の待機者数は。

答 土木建設課長

今回老朽化が著しい石塚2戸、池戸2戸、そして井戸1戸の計5戸を予定している。また待機者については、5名程度だと思う。

最終処分場浸出水の運搬費用について

問 いつまで運ぶのか、現状は。

答 環境保全課長

塩分濃度が下がれば放流したいと思っているが、近年雨が少ないためかあまり下がっていない。

徴収するのかわりか使用料

問 さぬき市が使用料を7月から徴収するとのことだが、本町は。

答 環境保全課長

さぬき市の財政状況から徴収するものであって、本町では今のところ全く考えていない。

町道新設を願う

問 町道上池荒木線の南進計画の現状は。

答 町長

交差点改良、電車の踏切の問題などがある。一つ一つクリアをし、実現に向けている。



▲町道上池荒木線から南を望む

指定管理者制度の成果は

問 県では指定管理者制度の導入によって、単年度で6億7000万円の削減につながったとのことだったが、本町においては、どの程度だったか。

答 総務課長

現在、福祉センター、あけぼの荘、みきの家、文化交流プラザの4施設で導入している。当初予算ベースで18年度に比べ19年度で合計3303万円の削減となっている。また、今後においても委託先の経営努力を求め、さらなる削減を求めたい。そして新たな導入を進めたい。

キャッチボール教室？

問 キャッチボール教室について説明を。これから毎年続けるのか。

答 産業振興課長

「キャッチボールのできる公園づくりモデル事業」という名称の制度で単年度補助である。指導者については、プロ野球のOBの方を予定している。年間10回程度の開催を予定している。

公共施設の清掃業務の委託について

問 各施設の清掃費を合わせると相当な額になる。軽作業等についてはシルバー人材センターの活用としてはどうか。削減になる。

答 総務課長

経費削減に向けて、出来るものは積極的に導入したい。ただ、分割して発注可能かどうか、今後検討したい。

各謝礼金の再考を

問 広報委員、実行組合長など、各集落内で順番で引き受けるようなものに対する謝礼金について、検討の余地があるのではないか。

答 総務課長

この謝礼金については、労務の提供といった観点から慎重に検討したい。

みんなで楽しく給食タイム!

給食費の滞納は

問 最近話題になっている給食費の滞納は本町でもあるのか。

答 教育長

滞納とは何かの基準があいまいである。現在、小学校・中学校共に複数ある。しかしながら、遅れて納められている。今後、食の大切さを理解していただき、滞納がないよう啓発指導をしていきたい。



小中学校の耐震化について

問 今現在の耐震化率について示してほしい。

答 教育総務課長

小中学校の校舎等の耐震化率は34.5パーセントとなっている。今後の耐震化工事については19年度から始め22年度末に完了したい。



▲大沼湖でカヌーを体験

交流委員会 補助が大幅な減額

問 なぜ大きく減ったのか。

答 教育総務課長

交流委員会では、カナダのデイズベリー町、北海道の七飯町との相互交流を行っている。昨年は、本町から七飯町を訪れたが、今年は七飯町からの受け入れとなり、旅費が大幅に減ったためである。

高松東ファクトリーパークでの地元雇用は

問 高松東ファクトリーパークに対していろいろ予算が計上されているが雇用の促進は。

答 産業振興課長

現在10企業が入っており300人余が働いている。そのうち本町在住の方は48名である。

答 町長

機会があるたびに経営者の方々にお願いをしている。少しでも多くの町民が働けるよう願っている。



▶急がれる耐震化工事 氷上小学校

委員会レポート

総務

未利用財産の処分について

未利用財産のうち、旧みきの家、旧白山幼稚園、旧井戸出張所の3件について、2月5日に一般競争入札を実施し、その結果報告があった。

○旧みきの家

一個人と一法人の入札があり個人の方が、868万100円で落札した。

○旧白山幼稚園

入札希望者がなかった。

○旧井戸出張所

二個人と一法人の入札があったが、三者とも最低売却価格に達せず不調に終わった。

問 町民の大切な財産を処分することについては、しっかりと知恵を出して欲しい。

答 総務課長

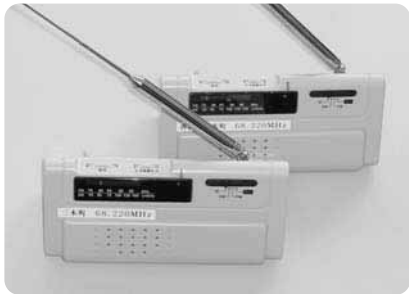
今後いろいろな方策を講じ、売却できるように努めたい。

コミュニティバスについて

平成18年4月から平成19年1月までの10ヶ月間の乗車人員は延べ9329人となっている。中でも特に神山線と北部線の利用人数が多く、この2路線で全体の85パーセント強を占めている。

また2月26日から供用開始となる高速バスストップ「獅子の里三木」にバス停を設置し、利用促進に努めたいとのことである。

防災ラジオの配布状況は



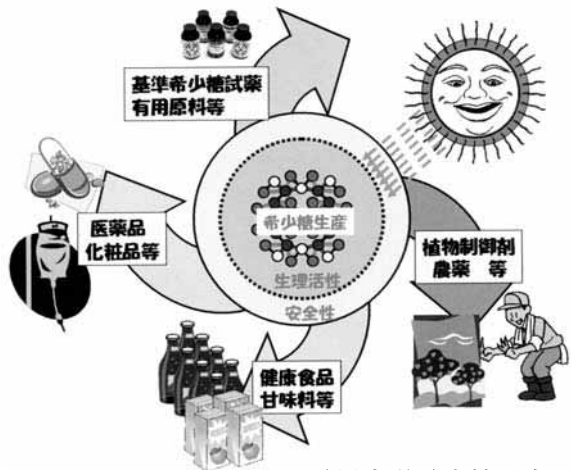
▲2台目も購入可能 防災ラジオ

現在有償無償合わせて配布総数は4555台である。今後も「広報みき」や「ホームページ」を通じ周知に努め全世帯への普及を推進したい。

また、行政情報の配信を積極的に行いたい、とのことである。

教育民生

〈希少糖研究の到達点〉



香川大学希少糖研究センターから抜粋

旧小蓑幼稚園・小・中学校改修工事

問 希少糖製造に係る排水は浄化槽で処理するのか。

窒素とリンの含有量が多いため、処理は業者委託する。

答 生涯学習課長

別に器を設け、業者に処分を委託する。

答 教育長

希少糖は、元々バイオであるため、有害なものではないが、培養に使用後の排出液には、

答 生涯学習課長

純水製造装置の設置および、電気設備等は町が整備し、後のメンテナンスは、先方が行う。

問 当町と「合同会社希少糖生産技術研究所」との、工事費用の負担割合は。

答 生涯学習課長

純水製造装置の設置および、電気設備等は町が整備し、後のメンテナンスは、先方が行う。

下水道推進

仮称 三木処理センターについて

敷地面積22000平方メートルであり、逆L字型のような形状をしている。

それに基づきそれぞれの施設、設備を配置し、処理人口の増加に伴い順次建設する。

また報告事項として、公共下水道事業では中部地区荒木1工区管渠布設工事など4件を1億1200万円余で発注。農業集落排水事業では、井上南部地区1件、三木東地区3件の4件を8795万円余で発注しているとの報告があった。

人事

教育委員会委員に

三木丸夫氏を再任



三木 丸夫 氏

平成15年3月就任以来、2期目。
大字鹿庭(73歳)

「助役」を「副町長」に改称

地方自治法の改正により、平成19年4月1日から、「助役」を「副町長」に改称し、その定数が、1名と定められました。

自治功労表彰に3議員



溝渕 清美 議員



谷本 サクミ 議員



宮武 貞夫 議員

地方自治の振興に功労があったとして、全国町村議会議長会自治功労(在職30年)に溝渕議員が、また、(在職15年)に谷本、宮武両議員が表彰され、その伝達が、3月7日、本会議場で行われました。

工事請負契約を締結

第1回 定例議会(3月22日 可決)

- 工 事 名 旧小菟幼稚園・小・中学校改修工事
- 契約方法 指名競争入札
- 指名業者 11社
- 契約金額 71,400,000円
- 契約の相手 三木建設株式会社



第1回定例議会(3月) 議員出欠表

(本会議のみ)

議員氏名	3/7	3/12	3/13	3/14	3/16	3/19	3/22
議員氏名	3/7	3/12	3/13	3/14	3/16	3/19	3/22
松原 哲也	○	○	○	○	○	○	○
三木 和則	○	○	○	○	○	○	○
香西 義典	○	○	○	○	○	○	○
白井 正治	○	○	○	○	○	○	○
三宅 貞夫	○	○	○	○	○	○	○
香西 俊之	○	○	○	○	○	○	○
古市 嘉忠	○	○	○	○	○	○	○
香西 茂知	○	○	○	○	○	○	○
西丸 一明	○	○	○	○	○	○	○
谷畑 健二	○	○	○	○	×	○	○
宮武 貞夫	○	○	○	○	○	○	○
谷本サクミ	○	○	○	○	○	○	○
桑井 明人	○	○	○	○	○	○	○
古市 弘	○	○	○	○	○	○	○
原田 照治	○	○	○	○	○	○	○
筒井 米市	○	○	○	○	○	○	○
山本 繁	×	×	×	×	○	○	○
溝渕 清美	○	○	○	○	○	○	○
糸目 隆光	○	○	○	○	○	○	○
石井 定夫	○	○	○	○	○	○	○

○印は出席 ○は半欠 ×は欠席

町長はこう答えた!



昨年の12月定例議会において、決算特別委員会からの、平成17年度各会計決算についての7項目の指摘事項に対して、町長から今後の取り組みについて報告があった。

1 強い態度で望め

町税および住宅使用料の、収納率向上に努められたい。

未納者に督促状の送達および口座振替の推進や住民税の特別徴収を勧奨して納税意識の向上に努めている。

2 徹底的な見直しを

町費単独補助金および委託料の支出削減に努められたい。

当初の補助目的が達しているものと判断できるものは、今後は廃止の方向も含めて支出の削減に努める。

委託料については、社会状況の変化に即した、より効果的で効率的な委託形態への転換に取り組む。

3 みんなにやさしい町づくりを

町独自の少子化施策、および介護予防対策としての健康づくり・食育の推進に努められたい。

共稼ぎなどの事情で、育児に不安を抱える家庭に対して、子育てを支援していく。

介護予防対策として、転倒時の骨折予防につながる機能向上運動や栄養指導に努めている。

4 きれいな海・河川のために

公共下水道・農業集落排水事業は、補助金制度を活用しながら事業計画に基づいて推進している中で、供用開始後3年以内に、計画区域内全戸の加入に努められたい。

最も有利な補助制度を最大限に活用して両事業に取り組み、供用開始後の全戸加入を目指して努力していく。

6 計画路線の早期整備を

町幹線道路の整備推進、生活道路の未舗装道の解消、山間部路線の整備および交通安全施設の充実を。

幹線道路の計画路線を順次、整備していく。生活道路の未舗装道についても整備に取り組む。山間部の県道3路線についても整備推進していく。交通安全施設については、危険度の高い箇所を整備していく。

7 耐震化率の向上を!

今世紀前半にも発生が予想される南海・東南海地震に備え、自主

防災組織の充実および、小・中学校等施設の耐震化を図られたい。

5 アイデアと工夫を凝らして活き生きふれあいまつりについては、経費の節減と運営の合理化に努められたい。

様々な創意と工夫を凝らして、集客力の向上はもとより、効果的、効率的な運営に努め経費の削減を図る。



子どもたちのために



▲救命講習のようす

各自主防災組織には、消火訓練、救命講習、ハザードマップづくりの具体的な実践活動の支援を通じて組織力強化に協力していく。学校施設の耐震化については、耐震性能を有しない建物を耐震補強工事および改修工事に順次取り組んでいく。

第7回

追跡レポート

どう
なっとな？

◎三木中学校屋内運動場の建設について

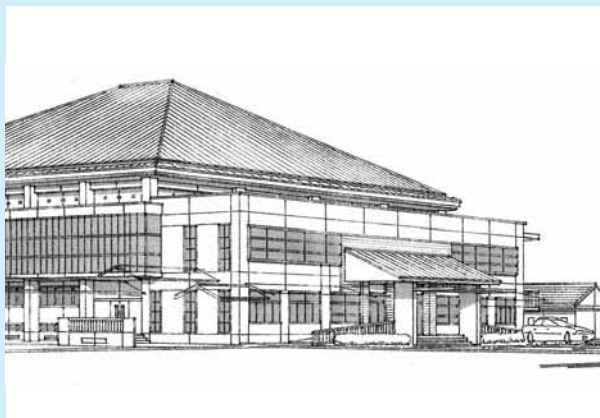
老朽化や、耐震化などで、問題になっている三木中学校の体育館を改修すべきでないか。
(平成16年6月定例議会 一般質問)

町長答弁

できるだけ早い時期に、改築に取り組みたい。

こうなります。

平成19年度に体育館の建設を予定している。



▲三木中学校屋内運動場完成予想図

◎バスストップの設置を願う

将来の問題として、バスストップ設置が実現できないか。
(平成16年3月定例議会 一般質問)

町長答弁

国土交通省四国整備局および日本道路公団四国支社などに強く要望している。

こうなりました。

「獅子の里三木バスストップ」が、2月26日から供用開始。



▲落成式の模様

サーサー

高野のコミュニティ公園で遊びまわろう！

ここ天野神社、高野コミュニティ公園より

いいこと一声お届け致します。私達ゲートの生まれは昭和六十三年二月十一日建国記念の日でした。昔の紀元節です。それから二十年の月日が流れました。

当時平木橋のためとでコーンコーンとゲートの打つ音が辺りを快く響かせ心ひかれました。その時誰からとなく声が上がってきました。高野のお宮さんの周辺、平尾、宮の浦西、東、高野と仲間を作りました。十五、六人集まりました。本場に「貴女」(あんな)「オマハ」集まりで気楽に競技が出来ます。生まれて初めて握るステック、赤、白、5コづつのボールで競技を行います。

ゲームの時間は三十分、出発点から第一ゲート、第二ゲート、第三ゲート、中央に「上り」のボールが立っておりあります。一点、二点、三点、上り五点となり満点です。その時の嬉しさは体から「バンザイ」の聲が辺りに飛び散り満足感に浸ります。

この味を地域の方々に浸透をさせ一日でも早く一緒に楽しみたいと思います。季節によって春は朝七時三十分、夏は六時三十分、七時、冬は朝の八時から、庭木の薪木をもらって体を温め黒いやカンで湯を沸かせ高野のコーヒーショップで心身ともに温もって、毎日二時間のゲートを楽しんでおります。暑くても暑気せず、色真っ黒で、冬は寒さにも負けず

に風邪をひかずに一日、一日を大切に過ごしております。皆様、一人、一人の健康づくりが家庭の明るさを増し、地域へと輪を広げ、三木町の医療費を少しでも少なく協力致しましょう。

三木町内の皆様、家にもならないで何か一年をとつても出来る競技は「ゲート」です。サーサーお散歩しながら高野のコミュニティ公園をのぞいて一緒に経験してみませんか。

(原文記載)



▲高野ゲート フレアイの仲間達



お気軽に議会を傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、30人となっておりますが、当日の午前8時30分で傍聴希望者が30人を超える場合は、抽選を行います。また、傍聴抽選整理券の配布については、午前8時30分までに役場庁舎3階、議会事務局前フロアーに参集された傍聴希望者のみとさせていただきますので、ご了承ください。

次の定例議会は6月中旬の予定です。

編集

後記

任期4年の最後の今期定例議会は、新年度予算案、町独自の子育て支援券交付条例の制定案など、全ての議案が可決され閉会した▼住民が待ち望んでいた高速バス停「獅子の里三木バスストップ」が2月26日供用開始された。利用者から「阪神方面へ行くのに大変便利になった」などという声が多く聞こえてくる▼任期満了前の4月22日、町議会議員の選挙が執行された。現職16人、新人2人の計18人が新たに町民の期待を受けた▼新メンバーの活躍が望まれる。

(T・I)